



第2回定例会開催

6月1日から24日まで平成27年第2回定例議会が開催されました。私にとって議員当選後初めての議会となりますが、22日(月)の補正予算特別委員会で早速質疑をさせていただく機会を得ました。私が質疑通告した内容は次の通りです。議場で得た初めての発言機会ですので、冒頭ごあいさつをさせていただきました。

1 商工振興費について

(1) 中心市街地機能維持事業費

2 児童福祉費について

(1) 転入親子ウエルカム事業費

(2) 子ども・子育てプランディング事業費

3 総務管理費について

(1) 市役所本庁舎改修事業費

(2) 第2庁舎建設事業費

多くの市民の皆様からのご期待と票の重みをひしひしとみしめていること、生まれ故郷である千歳のためにお役に立ちたいという思い、また、私たちの後を継ぐ世代が自由に夢を描ける社会を残したいという思いを変わらずに持ち続け、みずから考え、みずから立案し、みずから行動するという熱意で、市政のただすべきところはただし、エールを送るべき部分については、一生懸命お力添えをしたいと述べさせていただきました。

質疑では大項目の1点目で、商工振興費の中心市街地機能維持事業費について尋ねました。この事業は私が市職員時代にたずさわった業務でもあり、人一倍思い入れと関心が強いものです。市は昨年度までの10年間にわたり、千歳タウンプラザを中心市街地の活性化に寄与する核施設と位置づけて支援を行ってきました。その内容と成果、そしてこれからの取り組みについて重点的に伺わせていただきました。

産業振興部長の答弁によれば、これまでの10年間に市が中心市街地整備改善事業費として注入してきた総額は合計で6億3,498万1,000円、支出から収入を差し引いた額は4億6,380万6,000円ですとのことです。

次に、タウンプラザが中心市街地の機能維持に寄与した成果、また、中心市街地活性化に至らなかった理由の分析と今後の課題など、10年間の中心市街地整備改善事業に対する市としての総括をお尋ねしたところ、

「10年間の期間全体でタウンプラザを見た場合、中心市街地の商業施設としての役割は担っていたものと考えており、千歳市商店街振興組合連合会や商工会議所では、中心商店街への集客を図るため、さまざまなイベントやセール開催に取り組み、市も支援したが、郊外に進出する大型店の増加、消費者マインドの変化、インターネットや通信販売などの無店舗販売の拡大などのほか、個店経営者の高齢化や後継者不足、廃業などにより、中心商店街全体の魅力や機能が低下している。」との答えでした。



さらに、今年度から「千歳商業振興懇話会」において、市民アンケートの結果や若者の意見などを踏まえ、中心市街地の活性化に向けた具体的、かつ現実的な取り組みを新しい商業振興プランに反映させるとされているが議論の内容によっては、中心市街地エリアの定義を変える可能性、あるいは今後中心市街地エリ

ア外において地域の核となる商業施設が撤退の意思を表明した場合でも、市が今回と同等の支援を提供する可能性があるのか否かについて伺いましたが、千歳市商業振興プランの策定においては、上位計画である千歳市第2期都市計画マスタープランを基本に検討を進めること、現行のマスタープランでは商店街振興組合等を含む範囲を中心市街地と定めていることから、今後、商業振興懇話会の中で、中心市街地のエリア等については協議していくこと、また、中心市街地以外のエリアへの助成については、商業活動のみならず、地域のコミュニティ形成の場という公的な役割も担っている商店街振興組合に対する助成が基本と捉えているため、商店街振興組合が形成された場合には可能性があることを確認しました。この他にも中心市街地の活性化等について数々の質疑をさせていただきました。詳しくは当日の議会中継をご覧ください（幸いです）。
<http://appgikai.city.chitose.hokkaido.jp/gikai/2.html>（平成27年6月22日 ちとせの未来を創る会 1人目）

大項目の3番目では市役所の「第2庁舎建設事業費」について質疑しました。市は、今年度からスタートする第4期重点施策の中で子育て・教育の充実を掲げています。そこで正面玄関周辺などの目立つ位置に、子育て支援に関するスタッフを配置し、授乳スペースやキッズコーナーをそこに設けて、その傍らでは育児相談を行うなど、誰が見ても一目で子育てに力を入れているまちだということがわかるように工夫をしてはどうかと提案しました。総務部長からの答弁では、「市民の利用が多い窓口の機能の集約やプライバシーに配慮した窓口、また、ゆとりのある廊下や待ち合いスペースの確保についても、実現に努めたいと考えており、子育て支援に対応したキッズコーナーの配置などにつきましては、今後よく検討したい。」とのことでした。

続けて、千歳市と人口規模が近い福岡県の大野城市が実施しているワンストップサービスを導入する可能性について伺いました。大野城市は平成18年度から、週末窓口サービスというのを実施しており、20年度からは幾つもの窓口を移動しなければならなかった手順のほとんどを一つの窓口で終わらせる、「まどかフロア」と称するワンストップサービス総合窓口を開設しています。大野城市の場合は、全ての市民を対象としており、非常にハードルが高いことは承知していますが、千歳市でも、新庁舎の運用開始にあわせ、せめて障がいをお持ちの方や高齢の方だけでも対象とできないものか所見を伺いました。答弁では、「第2庁舎の建設に当たり、主に1階フロアの中で市民が多く利用する各窓口への移動ができる限り短い距離で済むよう、施設の動線と窓口のレイアウトに配慮することとしているが、バリアフリー対応など、高齢者、障がいを持った方についても利用しやすい施設となるようよく検討したい。」との答えでした。

初めての壇上でたいへん緊張しましたが、先輩議員からも的確でわかりやすい質疑だったと評価いただきました。期待をもって一票を投じてくださった方々のご期待に背くことの無いよう、これからも初心を忘れずに取り組むこととお約束いたします。

市政に対するあなたの思い、地域活性化のアイデアを是非お聞かせください。

メール：mail@kitayama-keita.com

ホームページ：<http://kitayama-keita.com>



「北山けいた後援会」では、物心両面から活動を支援してくださる方、また私の考えに賛同して一緒に行動していただける方を広く募集しております。もちろん千歳市民で無くとも結構です。お問い合わせは上記のメールからお願い致します。

ちとせみらい通信は私の想いを届けるかわら版です。